

メディアと乳がん患者



～両側乳がんを摘出したテレビディレクターが語る女性支援と社会の壁～



突然、自分や家族ががんだと言われたら・・・？

「HTB ノンフィクション “おっぱい2つとってみた～46 歳両側乳がん”」ドキュメンタリーの上映をベースに、日本や世界の乳がん患者が直面する課題や支援体制、女性に立ちはだかる社会の壁、取材するメディアの在り方について、「おっぱいを2つとった」本人から学びます。年齢や性別に関係なく、真の多様性、他者支援、インクルージョンについて考えてみませんか？

乳がんは世界的に罹患者が年々増えてきており、女性のがんによる死亡原因の1位です。10月は全世界においてピンクリボン月間ですが、それを知っている学生は少ないのが現状です。本セミナーをきっかけとして、少しでも多くの学生が、全ての世代と性別の人への啓蒙、検診率の向上を目指すピンクリボン活動に貢献することを望みます。

【セミナー&動画視聴について】

本セミナーでは「“おっぱい2つとってみた～46 歳両側乳がん”」の動画の中より、テーマに応じて幾つかの部分講師と共に振り返りながら、トーク&ディスカッション形式で進められます。当日までに以下のリンクより無料フル動画(約45分、会員登録のみ必要)の視聴を強く推奨します。(視聴していなくてもセミナー参加は可能です)

HTB 北海道オンデマンド <https://hod.htb.co.jp/p/op001001>

日時:2020年10月26日(月)3限(12:25 - 14:00)

対象:APU 学生、教職員、一般参加者

使用言語:日本語/英語

場所:学内(F108 教室) + オンライン同時配信*

*一般参加者はオンライン参加のみとなります。以下のリンクより無料参加いただけます。
<https://weareapu.zoom.us/j/91580066273> <https://youtu.be/a-A8gU5cyE8>



講師:阿久津 友紀 氏

あくつ ゆき: HTB 北海道テレビ コンテンツビジネス局ネットデジタル事業部 副部長兼デジタル編集長

北海道テレビ入社後制作部へ。2003年に報道部に移動後、ライフワークとして18年もの間、乳がん関連の取材、イベントを制作。2005年から毎年10月の乳がん検診の啓発活動、ピンクリボン運動に参加。番組制作やイベント制作、また社内イベントとしても継続中。小学校・中学校・大学などへの啓発活動も多数。

2019年5月に自らも乳がんを診断。7月に手術。その模様をカメラに収めドキュメンタリー番組「“おっぱい2つとってみた～46 歳両側乳がん”」を制作。2020年日本民間放送連盟賞 優秀賞受賞(テレビ報道部門)。

APUの学生と作成した同作品の英語字幕版“Boobies behind, Journey ahead”は、2020年日本賞(海外向け教育映像祭)の最終候補となっている。

連絡先:

立命館アジア太平洋大学学長室社会連携

〒874-8577 大分県別府市十文字原

1-1 TEL 0977-78-1106

Eメール: social@apu.ac.jp